



## 3分で読めるカキプロたより

## かきのたね

## 個人のパソコンで会社の仕事をさせるリスク

2020年のコロナ禍で都心のオフィスビルの空き室率が急増しており、テレワークを継続する企業も増え続け、多くのサラリーマンが在宅で仕事をする世の中になってきた。

大半の企業はパソコンを社員に貸与しているが、セキュリティ対策のない私用のパソコンから会社のサーバーにアクセスできる場合、デバイスを問わず利用することができセキュリティリスクが高まります。

(タブレット端末やスマホも同様)

去年、ソフトバンクの元社員が楽天モバイルへ転職し会社の情報を流出させた事件があった。

また、積水化学の元社員が中国の企業へ転職した際に営業秘密を漏洩容疑で書類送検された。

どちらの事件も私用のパソコンで作業していたら簡単にできてしまうような事件だ。

元社員の「手土産転職」なるものが横行しやすい環境が要因となる。

このような情報漏えいリスクを「ソーシャルエンジニアリング」と言って人の行動によって機密情報が漏洩したりログインパスワードを盗み見されたりして被害を受ける事件が増加するだろう。

要するに体系的なサイバー攻撃対策を行っても防げないようなリスクがある。

顧客情報などの個人情報漏えいした場合、企業は顧客対応のコストも負担が大きく監督省庁から行政措置を受けることになる。

さらに営業機会を失い、社会的信用が低下、売上の減少、経営責任の追及が考えられます。

企業内の営業秘密は法的に保護されます。(不正競争防止法)

- ① 秘密管理性 (社内秘として管理されている情報やパスワード設定している情報)
- ② 有用性 (事業活動に有用な営業上の情報)
- ③ 非公知性 (公然と知られていないもの)

業務で知りえた情報をむやみやたらに SNS などに公開してはいけないなどマニュアルや規程を徹底させ、入社や退職時には秘密保持誓約書を作成して対策を講じることが必要。

情報セキュリティ対策は IPA(情報処理推進機構)のホームページに「IPA が公開する関連資料の紹介」に対策マニュアルがありますので参照することをお勧めします。

参照 IPA(情報処理推進機構)HP より

## ● ご相談先

株式会社カキプロ 本社 住宅サポート事業部

札幌市中央区大通西11丁目4大通藤井ビル2F 011-280-6580

株式会社カキプロ 大阪事務所

大阪市北区天満1丁目6-8 六甲天満ビル2F 06-6882-2680

「かきのたね」の名前は  
カキプロのかきと情報=話しのたねを  
かけてネーミングしました。  
お客様が気軽にご相談できる代理店を  
目指し発行しております。配信不要の  
場合はメールにてご連絡ください。

発行者 湊 芳行  
y-minato@kakipro.jp